



総合教育センターだより

117号 平成28年5月発行 山梨県総合教育センター

2030年からみる社会と教育

所長 深澤 眞悟



最近、ハンドルから手を離して運転する自動運転車のCMをよく見かけるようになった。人工知能（AI）の技術進歩は目覚ましく、日本自動車工業会は、2030年には「完全自動運転車」の普及を見込んでいるという。政府は、今はほとんど存在しないAIやビッグデータなどの先端技術の市場を30兆円規模で創出することを目標としている。また、野村総合研究所のレポートでは、10年～20年後に日本の労働人口の49%がAIやロボット等で代替可能である推計結果が得られているという。人口減少、労働力の減少が見込まれ、AIやロボットが補完することで社会的な影響もみられる。代替可能な職業という視点では、特別の知識・スキルが求められない、データの分析や秩序的・体系的操作の職業は代替可能性が高いという。一方、代替可能性が低い職業は、創造性、協調性が必要な業務や非定型な業務は、人が担う可能性が高いという。人が能力を発揮することとは、どのようなことなのか、近い未来の社会で生きる時に、人としてどのようなことを身につけるべきなのか、あらためて考えさせられる。

さて、次期学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が理念として示されている。①社会や世界の状況を視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会づくりを目指す②これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合っていくために求められる資質・能力とは何か③学校教育を学校内に閉じず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現する。教育課程を介していくことが示されている。カリキュラム・マネジメントや授業力向上、アクティブ・ラーニング、チーム学校など指導力をあげることが大切になっている。学校でどのようなことを教えていくのか、どのような授業をしていくのか、また、学校・教師としてどのように教育力をあげるのか真剣に考えないといけない状況であり、質的な転換が求められていると考える。

総合教育センターでは、4月から研修担当部署を研修指導部と名称変更を行い、職名変更で指導主事と法的な職務の位置づけを明確化しました。また、「eラーニング研修」の整備を順次進めていきます。学び続ける教職員の皆さんの研修研究に少しでもお役に立てる総合教育センターでありたいと思っています。是非、本センターをご自身や学校としての実践力を磨く機会としてご活用ください。今後も、学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センターとしての役割を努めてまいりますので、大いに本センターをご活用いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

運営基本方針

- (1) 教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育公務員特例法等の法規に則り、「新やまなしの教育振興プラン」、及び「山梨県学校教育指導重点」等を踏まえ、「生きる力」を育む学校づくりの実現に向けて本県の学校教育の振興を図ります。
- (2) 教職員の資質能力の向上、学校教育における課題解決に向け、関係機関との綿密な連携を図りながら、研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進し、本県の学校教育の振興と充実に寄与します。



研修指導部

知識基盤社会化やグローバル化、情報化、急激な少子高齢化社会への移行など、急速に変化・進展し続ける社会においては、高度化・複雑化する諸課題への対応が必要となっており、学校教育においても求められる人材像を踏まえた教育の展開が必要となっております。それに伴い学校に期待される役割や教職員に求められる資質能力も多様なものとなっております。山梨の未来を担う児童生徒に社会を生き抜くための確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を重視する「生きる力」をよりいっそう育み、急速に進展し変化する社会に的確に対応するための教職員の資質能力の向上と意識改革を図り、学校教育の振興と充実に資することができるようにするために、研修の重要性はますます高まっていると考えます。研修指導部では、このような認識のもとに教育経営研修、経年研修、教科等研修、教育課題研修、教育相談研修、特別支援教育研修、情報教育研修、外部共催研修等の研修会の企画・運営等を統括するとともに研修会の質の向上にさらに努めていきます。

◇学校教育を支援し、教職員の資質向上に資する研修会を目指して

今年度の研修体系は、基本研修と専門研修及び免許状更新講習で構成し、教職員の資質能力の向上を目指しています。研修会終了後の受講者アンケートの感想・意見や今日的な教育課題などを踏まえて、研修会の新設・改編・統合等に取り組み、平成28年度の研修会の内容を決定しました。講師には、県内外の大学の先生、有識者、熱心に教育活動を実践されている現職教員など魅力あふれる方々を多数お願いしています。本センターHPから研修会の内容を閲覧できますので御活用ください。教員のライフステージに応じた研修体系も同じくHPで閲覧できます。それぞれのライフステージに合わせた教育の専門家としての力量を高め、よりよい教育実践のために、本センターで実施する研修会を多くの方に活用していただきたいと願っています。

平成28年度山梨県総合教育センター研修体系図			
基本研修 (必修研修)	1 教育経営研修	①管理職研修	2
		②主任等研修	16
	2 経年研修	③初任者研修	1
		④五年経験者研修	1
		⑤十年経験者研修	1
		⑥中堅教員研修	1
専門研修 (希望研修)	3 教科等研修		55
	4 教育課題研修		15
	5 教育相談研修		9
	6 特別支援教育研修		5
	7 情報教育研修		19
	8 外部共催研修		10
免許状更新講習	9 免許状更新講習		3
			計138研修

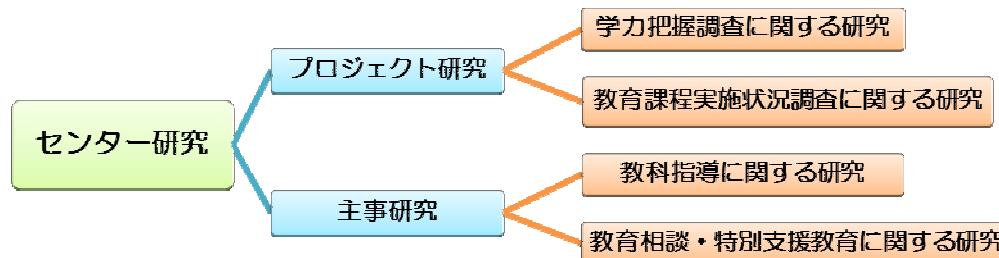


研究開発部

学校の現状に即した今日的教育課題を把握し、指導計画・指導方法の開発研究や課題解決のための調査研究を推進しています。研究の成果は、平成29年2月23日(木)の「センター研究大会 実践交流 ラウンドテーブル2017」において報告・議論するとともに、ホームページに掲載します。なお、過年度の研究内容についても、ホームページで閲覧することができます。

センター研究

研究テーマ「学校教育を支援する実践的研究 ―確かな学力の育成―」の下、研究成果を学校現場に還元できるよう、本センターの指導主事が、確かな学力の育成を目指した教科指導に関する実践事例（単元の指導及び評価計画・授業展開例・学習プリント・評価プリント等）、いじめ・不登校の予防や解決、特別支援教育の充実等に関する研究を推進する計画となっております。



一般留学生研究

学校現場から本センターに派遣された一般留学生による研究です。今年度は、2名の一般留学生が、「数学的な思考力・表現力を高める指導の在り方（小学校・算数）」「子供同士が安心感をもってつながる学級づくり（小学校・教育相談）」について研究を進める計画となっております。





相談支援部

相談支援部は、今年度も研修・研究・相談を通して、学校と子供たちの健やかな成長を支援していきます。また、教職員への支援の一環として、学校におけるケース会議への参加など校内研究会や学習会への講師派遣（出前研修）も実施しています。お気軽にお問い合わせください。

（教育相談 055-262-5904、特別支援教育 055-263-4606）

《教育相談》 ☎055-263-3711（いじめ・不登校ホットライン）

いじめ・不登校をはじめとする様々な教育問題に関して、児童生徒、保護者、教職員への支援として「電話相談」と「面接相談」を行っています。お気軽にご相談ください。

○面接相談：平日午前9時～午後5時 ※事前に電話でご予約ください。

ホッちゃん



○電話相談：365日24時間いつでも受け付けています。

《特別支援教育》 ☎055-263-4606

お子さんの発達に関する相談はこちらへ・・・発達の遅れやその心配のある幼児児童生徒の保護者、教職員等に対して教育相談を行い、幼児児童生徒の調和的な発達が図られるように支援しています。お気軽にご相談ください。

○面接相談：平日午前9時～午後5時
※事前に電話でご予約ください。

○電話相談：平日午前9時～午後5時

○訪問相談：平日午前9時～午後5時 ※派遣依頼文が必要です。

《適応指導教室》 石和こすもす教室 ☎055-261-1271

葦崎こすもす教室 ☎0551-22-1133

都留こすもす教室 ☎0554-45-1161

ホッちゃん



こすもす教室は・・・

学校・家庭との連携のもと、不登校児童生徒の集団生活への適応や学習の補充等に援助・指導することにより自立心を養い、再登校への意欲をもたせることを目指しています。お気軽にご相談ください。



情報教育部

教育用デジタルコンテンツの開発・収集・発信を行うと共に、ネットワーク、グループウェア、校務処理システム等の運用・管理を支援し、数多くの相談業務に対応しています。

その一方で、児童生徒の学力向上を目指し、ICTを活用した「わかる授業」の実現に向けての授業デザインを通じて教育現場に還元できるように研究しています。さらに、教職員のICT活用能力及びICT活用指導力向上のための研修会を充実させつつ、県内の教育の情報化を推進しています。

◇学校の情報化推進を目指して

情報教育に関する研修会は、ICTを活用した効果的な授業実践力を高め、総合的なICT活用能力や活用指導力の向上を目的として、平日開催の新規タブレット研修会を含む19研修会で構成されています。「A 喫緊の課題」「B ICT活用基礎」「C アプリケーション基礎」「D アプリケーション応用」「E 専門的技術」の5分類で、指導法に関する情報提供、ICT機器・ソフトウェア・ネットワークなどを多角的に身に着ける研修会を計画しています。



2015.07.10

これまで実施していたWordやExcel等、アプリケーションソフトの基本操作研修会については出前研修で対応しています。この他、情報モラル・タブレット研修等についても出前研修として実施しています。本センターホームページよりお申し込みください。



eラーニングの事前視聴、始まる！

3次元的援助サービス 特定の子供に対する支援。危機対応も。

- **困り感の同定と環境調整、具体的支援**
 - ・問題行動の背景として考えられる発達面のアセスメント
 - ・子供の特性に応じた支援の検討、実施
- **共感的理解と勇気づけ**
 - ・問題行動の心理的背景について聴く。
 - ・心理的背景について共感的に理解する。
 - ・本来もっているよさとリソースを共にさがし勇気づける。
- **解決と再発防止を目指した指導**
 - ・何が誰にとってどのように問題なのか何に困っているのかを共に考える。
 - ・どうなったらよいのか目標の一致を図り、解決策を共に考える。
 - ・再発の防止策を共に考える。

目次

- いじめがどのように解決に至ったのか
- いじめを巡る今日的な課題
- 学力向上に資する安全で安心な学校環境づくり
- 抱え込みから組織的な対応へ
- 3次元的援助サービス
- いじめ解決事例とは
- 事例分析の視点（理論的背景）
- 事例分析の方法（質的な研究）
- SCAT分析の実際
- いじめ解決事例
- ケースAの時系列によるまとめ
- 考察

山梨県総合教育センター

「日々の業務で研修が受けられない」「研修会当日に別の業務が入ってしまった」など、研修会を受けたくても受けられない先生方の声に応じて、総合教育センターでは今年度、「いつでも、どこでも、何度でも」のコンセプトで受講できる「eラーニング(仮称)」の整備に取りかかりました。

4月当初の研修会事務説明会でも案内したとおり、既に「101新校長研修会」「406いじめ予防と解決に関する研修会」「604授業に役立つタブレット活用研修会」をはじめとする10研修会の約450人の先生方に事前視聴を体験していただくプログラムが始まっています。受講者の皆さんには事前視聴後に研修会を受講していただいています。ご協力感謝いたします。この事前視聴用のコンテンツは、いじめに関する研究成果、学校組織マネジメントの還流報告、タブレット操作の基本操作などを紹介・説明する内容になっています。

事前視聴の対象になっていない先生方でも視聴できるようにしてありますので、是非ご覧ください。視聴に際しての詳しくは各学校の研修担当の先生方にお尋ねください。

平成29年度 一般留学生の募集について

例年9月に願書受付、11月に選考検査を実施しています。

正式な募集要項は、8月下旬に本センターのホームページにアップするとともに、各学校に文書でお知らせする予定です。多くの先生方の応募をお待ちしております。

平成28年度一般留学生のお二人です。



● 小学校での算数的活動を通じた協働的に学ぶ授業づくり、開発的・予防的教育相談の手法を生かした学級づくりの研究に励んでおります。



YAMANASHI PREFECTURAL
EDUCATION CENTER

編集発行 山梨県総合教育センター
山梨県笛吹市御坂町成田 1456
電話 055-262-5571
Fax 055-262-5572
発行責任者 所長 深澤 真悟
発行日 平成28年5月26日